



白鳳点描

心が動いた出来事

校長 水野夏子

熱戦が繰り広げられたミラノ・コルティナ冬季オリンピックも幕を閉じました。試合当日の選手の姿はもちろんのこと、オリンピックに向けて長い年月取り組んできた過程を想像すると、全ての選手と支えてきた関係者の方々に大きな拍手を送りたいと思います。白鳳小学校出身でショートトラックスピードスケート選手の吉永一貴選手は、3度目のオリンピック出場を果たし、活躍されました。本校では、児童会を中心に応援メッセージを作成し、パブリックビューイングに掲示していただきました。



2月25日(水)に「6年生を送る会」を行いました。各学年から披露された歌や呼びかけなどを通して、6年生の卒業を祝い、これまでの活躍に感謝の気持ちを送りました。通学団、委員会、クラブ活動、児童会、学校行事など、6年生が中心となって活躍する場面はたくさんあります。これらが滞りなく行えたのは、6年生の果たした役割が大きかったからでしょう。在校生の応援する気持ちを受け取って、新たな門出の日を自信をもって迎えてほしいと思います。また、この会は5年生が企画・運営を担当しました。次の最高学年として立派に役割を果たしました。



【 1年生 】



【 2年生 】



【 3年生 】



【 4年生 】



【 5年生 】



【 6年生 】